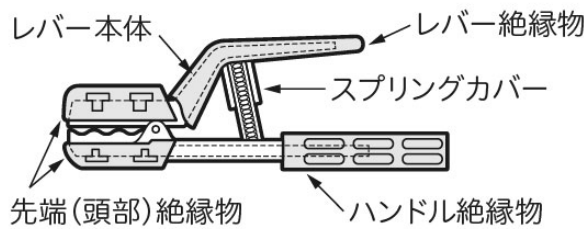


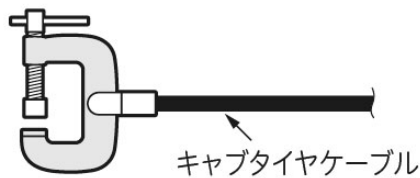
13-7 アーク溶接機の安全

安衛則 325	強烈な光線を発散する場所は区画する。
安衛則 331	溶接棒ホルダーは感電を防止するため必要な絶縁効力及び耐熱性を有するものでなければ使用してはならない。
安衛則 332	金属体で囲まれた場所で著しく狭あいなところ又は墜落危険のある高さ 2m 以上の場所で鉄骨等導電性の高い接地物に接触する恐れがあるところで溶接作業を行うときは、自動電撃防止装置を使用する。
安衛則 336	絶縁被覆が損傷、老化しているものは感電防止措置を講ずる。
安衛則 352	溶接棒ホルダー、自動電撃防止装置、感電防止用漏電しゃ断器、アース、移動電線及び接続器具等を使用するときは、その日の使用開始前点検をする。

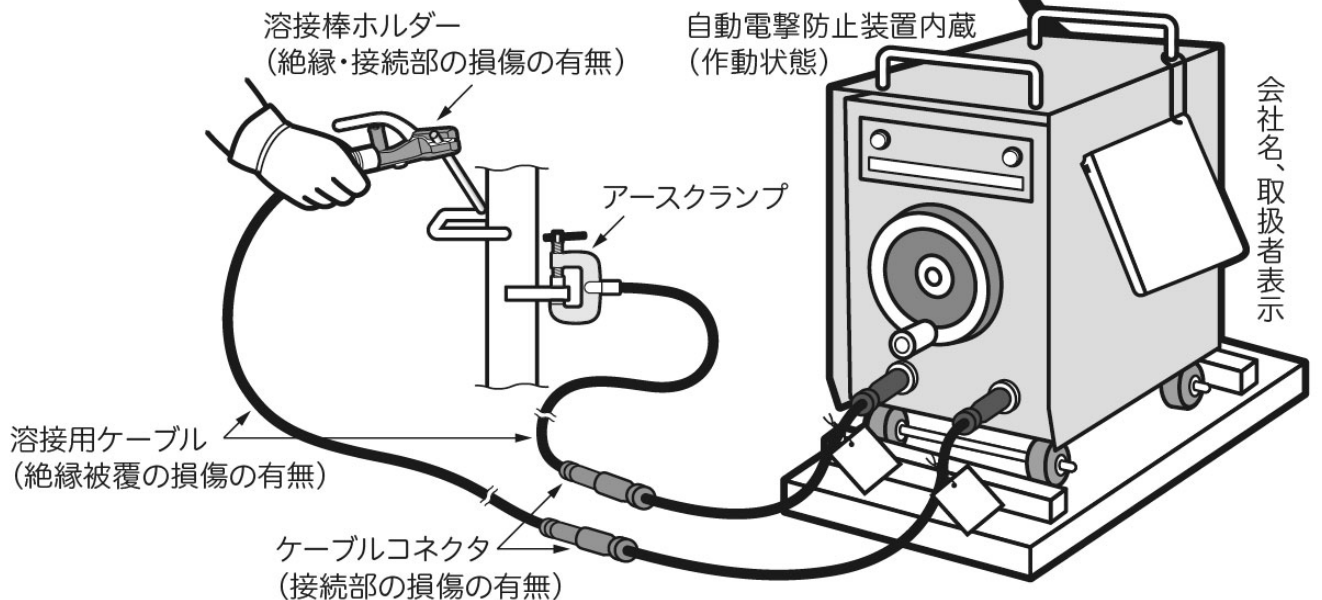
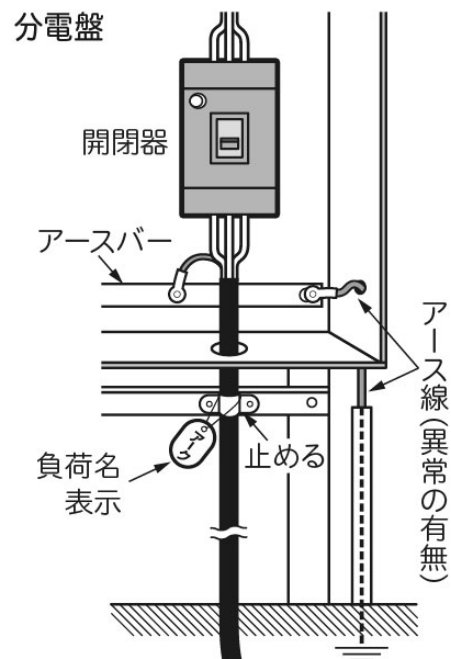
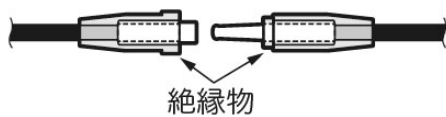
溶接棒ホルダー (JIS C9300-11に適合、又は同等以上のもの)



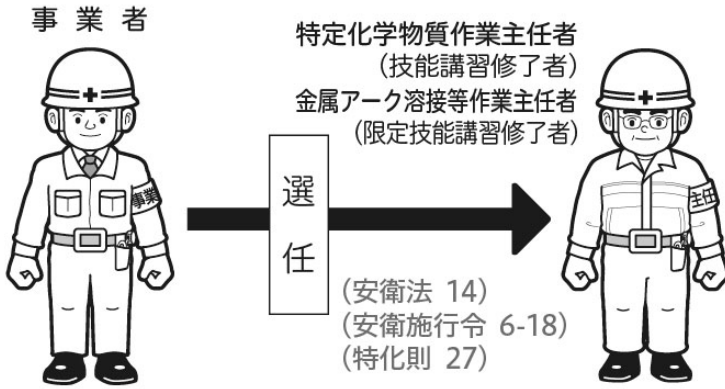
アースクランプ



ケーブルコネクタ



13-7 アーク溶接作業の安全



(特化則 28の2) 作業主任者の職務

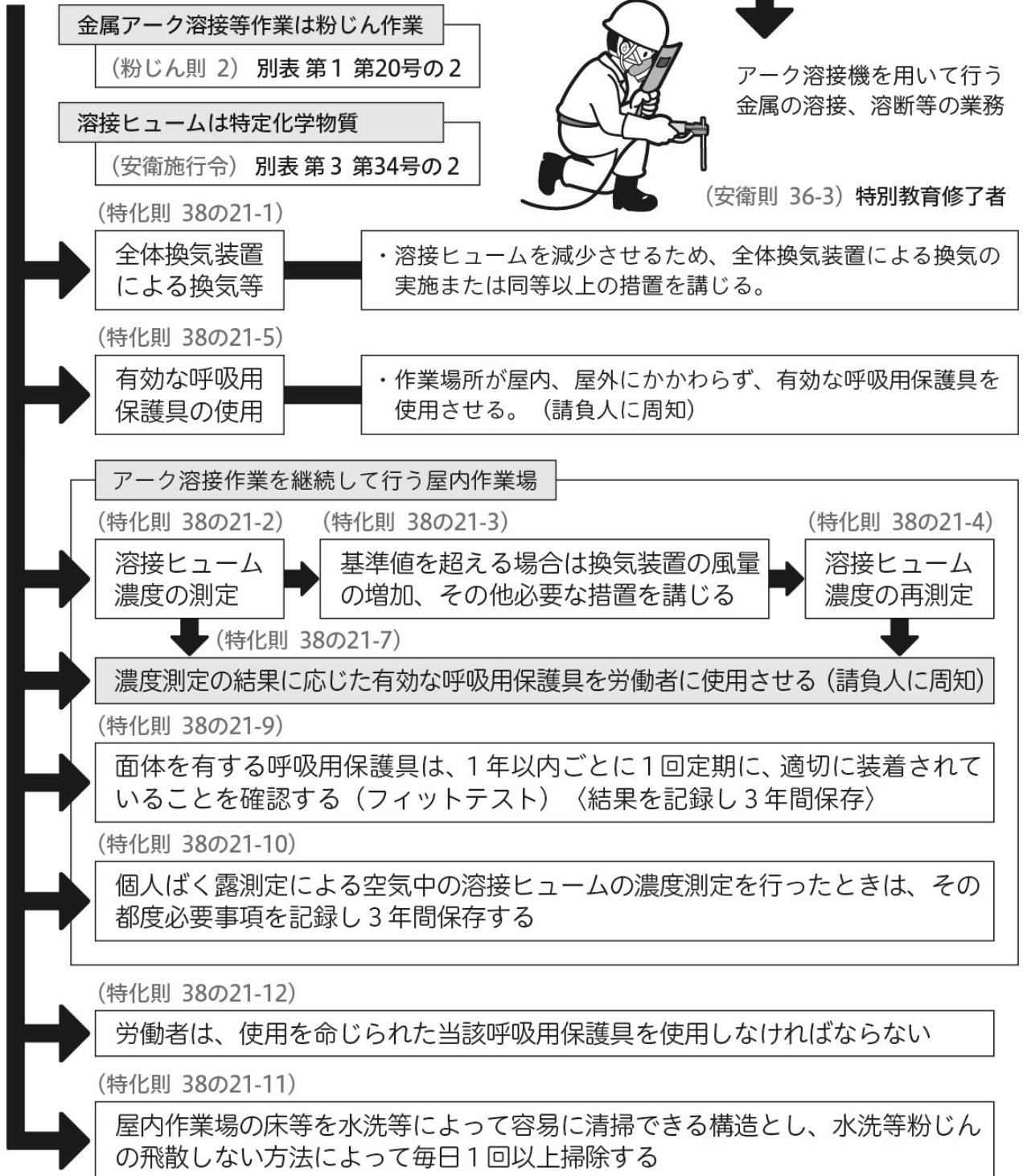
1. 作業に従事する労働者が溶接ヒュームに汚染され、吸入しないように、作業の方法を決定し労働者を指揮すること。
2. 全体換気装置その他労働者が健康障害を受けることを予防するための装置を1か月を超えない期間ごとに点検すること。
3. 保護具の使用状況を監視すること。



アーク溶接機を用いて行う金属の溶接、溶断等の業務

(安衛則 36-3) 特別教育修了者

☆特化則に係る措置… 特定化学物質健康診断・安全衛生教育・ばろ等の処理・不浸透性の床設置
立入禁止措置・運搬貯蔵時の容器使用・休憩室の設置・洗浄設備・喫煙飲食の禁止



☆じん肺法に係る措置：じん肺健康診断

☆粉じん則に係る措置：呼吸用保護具